



横浜銀行 ロンドン駐在員事務所

週間トピックス(2017.11.03)

英国の住宅ローン事情

英国中銀（Bank of England）は、2007年7月以来約10年振りに、政策金利を過去最低の0.25%から0.50%へ引き上げを決定しました。また、英国の金融政策委員会は、インフレ抑制のために少なくとも今後2年間で、0.25%の金利引き上げが2度必要だろうと示唆しています。政策金利引き上げによって、景気への影響度、特に住宅ローン利用者への負担増加が気になるところです。

3日付の Financial Times では、今回の0.25%の金利引き上げで、住宅ローン利用者の負担は月15ポンド（約2,250円）増加するだろう、と報じています。英国の大手銀行は、政策金利引き上げに反応し、住宅ローン金利の見直しを発表しています。

英国の住宅ローンはどのくらいの金利水準でいくら借入が可能なのか、各銀行のホームページから調べてみると以下の結果でした。

1ポンド150円で試算 2017年11月3日現在

銀行名	借入可能金額		適用金利		借入比率
	£	(千円)	当初2年間	2年後以降	
Royal Bank of Scotland	68,200	(10,230)	3.09%	3.75%	43.1%
Lloyds Bank	65,122	(9,768)	2.79%	3.60%	42.0%
Barclays Bank	72,872	(10,930)	1.94%	3.99%	44.7%

【前提条件】

- ・前年度税込み年収£40,000（6,000千円）、妻と子供2人の4人家族
- ・自己資金は£60,000（9,000千円）
- ・借入期間は35年

当初10年間固定金利で1%を切る水準も珍しくない日本の住宅ローン金利状況からすると英国の住宅ローン金利水準とは大きな開きがあります。また、借入可能な金額も、日本では考えられないほど厳しい条件です。

この金利水準からさらに引き上がるとなると個人消費動向への影響も懸念されますが、英国では固定金利を選択している利用者が、5年前の30%台から直近ではおよそ60%と、金利変動リスクへの準備もしっかりとなされているようです。

以上

	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3
FTSE 100(英)	7,487.81	7,493.08	7,487.96	7,555.32	7,560.35
CAC 40(仏)	5,493.63	5,503.29	5,514.29	5,510.50	5,517.97
DAX(独)	13,229.57	—	13,465.51	13,440.93	13,478.86

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
 ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
 本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
 本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
 本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。